

全労金2017春季生活闘争ニュース・第3号

本日（6日）は、全国統一の「要求提出日」です！
「全国一斉職場集会」を開催し、共に闘うことを確認しよう！

◎全労金は、第87回中央労使協議会を開催し、全労金方針の主旨説明を行いました！

全労金は、本日（6日）午後2時30分から、協会と第87回中央労使協議会を開催し、「全労金2017春季生活闘争方針」の主旨を説明しました。冒頭、協会・中江理事長、全労金・末留中央執行委員長が挨拶した後、深見書記長より「全労金2017春季生活闘争方針」における具体的な要求課題と主旨を説明したうえで、労金協会に対し、各金庫への指導等の役割発揮を求めました。

◆中江理事長挨拶要旨

勤労者を取り巻く環境は、失業率の低下や賃上げ等、マクロ的には改善が見られるが、非正規雇用が4割を超えていることや、格差の拡大、貧困の実態等、非常に不安定な状況となっている。こうした中において、労金の理念や社会的役割発揮の重要性というものを改めて認識している。労金の理念をいかに施策として実現していくかが、私たちの果たすべき使命であり、職員一人ひとりがやりがいや高い志を持ち、自由闊達な議論が行われ、かつ、若い職員の良い意見や提案が反映されるような風通しの良い職場を労使が一緒になって築いていくことが重要となる。本日の労使協議においても、奇譚のない意見を出していただきたい。

◆末留中央執行委員長挨拶要旨

本日は、全労金2017春季生活闘争における統一の要求書提出日としており、全国14単組で要求書提出を行っている。また、3月28日を統一の回答期限日としている。単金・単組が様々な視点から交渉を行い、回答期限日までに解決し、新年度を前向きに迎えられるよう、全労金として最大限の役割を發揮する。

全労金方針の基本スタンスでは、新たに経営課題への対応を取り入れた。これは、各金庫が“厳しい環境”という抽象論のみを理由とした回答を示すことがあってはならないからである。“これまで経験したことのない厳しい環境を乗り越えるには、労使が共通認識に立ったうえで、事業運営を展開することが必要”であり、厳しい時に金庫・経営者はどのようなメッセージを職員・組合員に発信することが有益か等を確認し合う必要がある。また、職員が、単に金庫の示す経営数値や目標等の事業計画のみに傾注した業務推進を展開するのではなく、こういう時代だからこそ、会員・勤労者へのサポートやアドバイスといった労働金庫の存在意義を認識したうえで、労働者自主福祉運動を發展させるために行動することによって、経営環境を改善し、労働金

庫の発展に繋げる必要があると認識している。

本日以降、単金単組で本格的な労使交渉が始まる。経営陣には、職員・組合員のやる気や働きがいを引き出すことで厳しい事業環境を乗り越え、労金運動の安定と発展に繋げていくことが求められる。春季生活闘争を通じ、労働金庫で働くすべての労働者が、安心して働き続けることが出来る職場環境を整えることは経営の役割であり、回答期限日までに解決できるよう、協会として一層の尽力を果たすことを期待する。

最後に、協会・加藤専務から「全労金の春闘方針の趣旨は理解できるところであり、取り巻く社会情勢や労金の状況を全組合員で共有したうえで、つくり上げた春闘方針について敬意を表する。金庫を取り巻く環境は厳しく、課題も山積みではあるが、こういうときこそ、必要以上に悲観的になることなく、労使で健全な危機感を持ちながら、前を向いてチャレンジしていく姿勢を持っていきたい。この春闘を絶好の機会とし、率直な意見交換を通じて、3月28日には全金庫が円満に解決できるよう、協会としての役割を果たしていくとともに、来季に向けて活力となる取り組みになることを期待する」等の所感が表明され、閉会しました。



◎「一斉職場集会」を開催し、要求内容を確認したうえで「檄交流」に取り組もう！

本日は、「全労金2017春季生活闘争方針」に基づく全単組統一の「要求提出日」です。単組では、金庫・事業体・関連会社と「団体交渉」を開催し、要求書や申入書を提出しています。あわせて、全単組・全職場で「一斉職場集会」を開催することとしています。「一斉職場集会」では、全労金・単組が発行する「2017春季生活闘争ニュース」の読み合わせを実施し、全労金組織全体の状況、並びに、単組における「団体交渉」の状況を共有して下さい。

また、「全労金2017春季生活闘争」では、昨年を引き続き、すべての組合員の「共闘体制」を構築する観点から、単組・職場間の「檄交流」に取り組むこととしています。本日の職場集会で、相手単組の仲間に対し、春季生活闘争の勝利に向けた考えや思いを「檄布」に込めましょう！ なお、「檄布」は、3月17日前後に届けられます。

※ 次号は3月7日(火)に配信予定です

以上